独立の回復，55年体制

ポイント1　占領政策の転換

＿＿にあてはまる語句を確認しましょう。

①　冷戦の緊張の高まり

1948年ごろから日本を西側陣営（じんえい）の一員にするためにアメリカは占領（せんりょう）政策を転換（てんかん）

非軍事化・民主化よりも経済復興を重視

1950年　**朝鮮戦争**（ちょうせん）：在日アメリカ軍が朝鮮へ出動

↓

特需景気（とくじゅ）：朝鮮戦争の影響で起こった日本の好景気

日本の経済復興を加速

②　自衛隊

在日アメリカ軍が朝鮮戦争に出兵

↓

1950年　警察予備隊の創設：GHQの指示で結成

1952年　保安隊

1954年　**自衛隊**・防衛庁

ポイント2　日本の独立

＿＿にあてはまる語句を確認しましょう。

①　平和条約

1951年　**サンフランシスコ平和条約**

全権：**吉田茂**（よしだしげる）

内容：アメリカなど西側資本主義国とのみ48か国と結ぶ

資料1　サンフランシスコ平和条約

② 安全保障

1951年　**日米安全保障条約**（日米安保条約）

内容：日本の安全と東アジアの平和維持

アメリカ軍の日本駐留を認める

③ ソ連との関係

1956年　**日ソ共同宣言**

全権：鳩山一郎

内容：ソ連と国交回復（**北方領土問題**は未解決）

1956年　日本の国際連合への加盟が認められる

ポイント3　55年体制

＿＿にあてはまる語句を確認しましょう。

① 核問題への対応

1954年　第五福竜丸事件をきっかけに**原水爆禁止運動**が広がる

1955年　広島で第一回原水爆禁止世界大会

② 自民党の長期政権の成立

1955年　保守合同により**自由民主党**（自民党）の結成

革新政党である日本社会党と妥協しながら38年間政権を維持（**55年体制**）

③ 安保条約の改定

1960年　日米新安全保障条約

首相（しゅしょう）：岸信介（きしのぶすけ）

内容：条約の期限は10年

（以後はどちらかの反対がない限り自動延長）

日本や日本国内のアメリカ軍が武力攻撃を受けたときは，両国は共同行動をとる　など

↓

日本が戦争に巻き込まれる危険があるとして反対運動（安保闘争（あんぽとうそう））が起こる

資料2 安保闘争

確認テスト

次の問いに答えなさい。

(1)	朝鮮戦争を背景に，GHQの指示で結成された警察予備隊をもとに1954年に作られたものは何か。	自衛隊
(2)	1951年に日本がアメリカなど西側資本主義国・48か国と結んだ条約は何か。	サンフランシスコ平和条約
(3)	サンフランシスコ平和条約に日本の全権として調印した総理大臣は誰か。	吉田茂
(4)	1951年に日本の安全と東アジアの平和維持のために結ばれ，アメリカ軍の日本駐留を認めた条約は何か。	日米安全保障条約
(5)	1955年に保守合同により結成され38年間政権を維持した政党は何か。	自由民主党（自民党）
(6)	1956年に鳩山一郎内閣が調印し，ソ連と国交を回復したものは何か。	日ソ共同宣言